

「オープンとくしま e-モニターアンケート」結果概要について

県政に関する県民意識調査

今回のアンケートは、県において策定している令和5年度から令和8年度を目標年次とする新たな総合計画へ反映させることをはじめ、今度の本県施策の推進に資することを目的として実施いたしました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

<調査の概要>

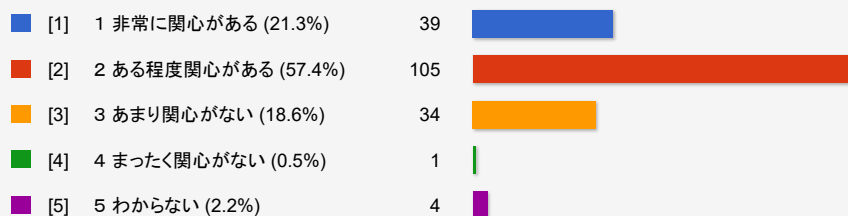
- 1 調査期間 令和4年6月8日～21日
- 2 調査対象 オープンとくしまe-モニター 200名
- 3 回答状況 回答者数183名 回答率91.5%

問1

(県政に対する関心)

あなたは、徳島県の行政(県が行っている仕事やその進め方)について、どの程度関心がありますか。
次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」と答えた方と合わせると約8割となっています。

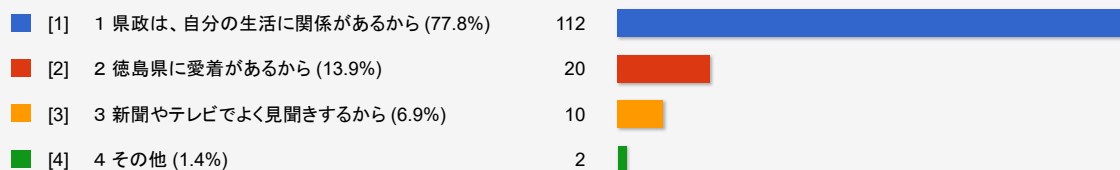


問2

(県政に「関心がある」理由)

問1で1、2を選んだ方(県政に関心があると答えられた方)におたずねします。
あなたが徳島県の行政に関心があるのは、どういう理由からですか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「県政は、自分の生活に関係があるから」と答えた方が最も多く、7割を超えています。

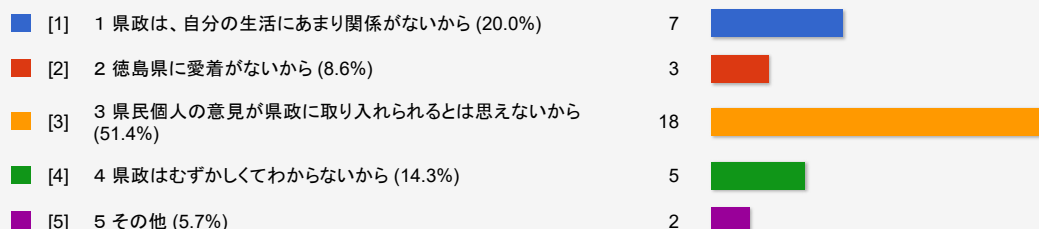


問3

(県政に「関心がない」理由)

問1で3、4を選んだ方(県政に関心がないと答えられた方)におたずねします。
あなたが徳島県の行政に関心がないのは、どういう理由からですか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「県民個人の意見が県政に取り入れられるとは思えないから」を答えた方が最も多く、5割を超えています。

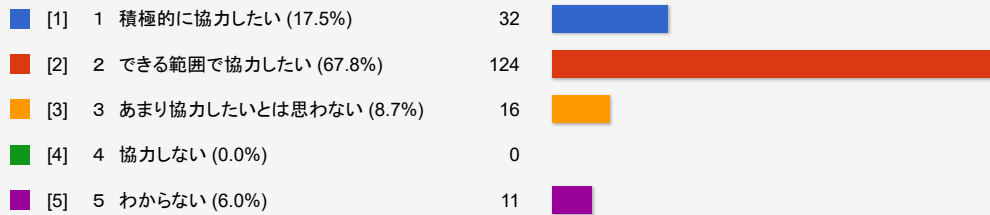


問4

(県政への参画意識)

徳島県では、開かれた県政を推進するため、県民の皆さんの県政への参加を進めています。あなたは、県の事業などへの参加、協力を求められたときは、どうしたいと思いますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「積極的に協力したい」と「できる範囲で協力したい」と答えた方を合わせると、8割を超えています。



問5

(徳島県への愛着や誇り)

あなたは、徳島県に愛着や誇りを感じていますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「愛着や誇りを感じている」と「どちらかと言えば愛着や誇りを感じている」と答えた方を合わせると、約7割となっています。

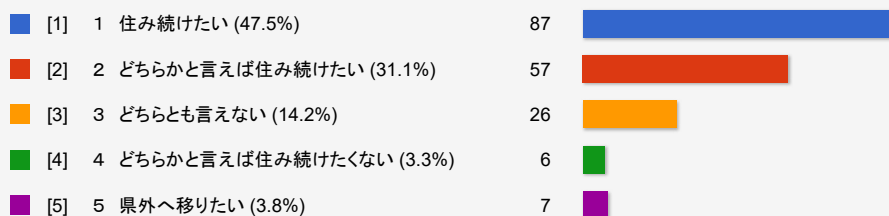


問6

(徳島県への定住意向)

あなたは、徳島県にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「住み続けたい」と「どちらかと言えば住み続けたい」と答えた方を合わせると、約8割となっています。

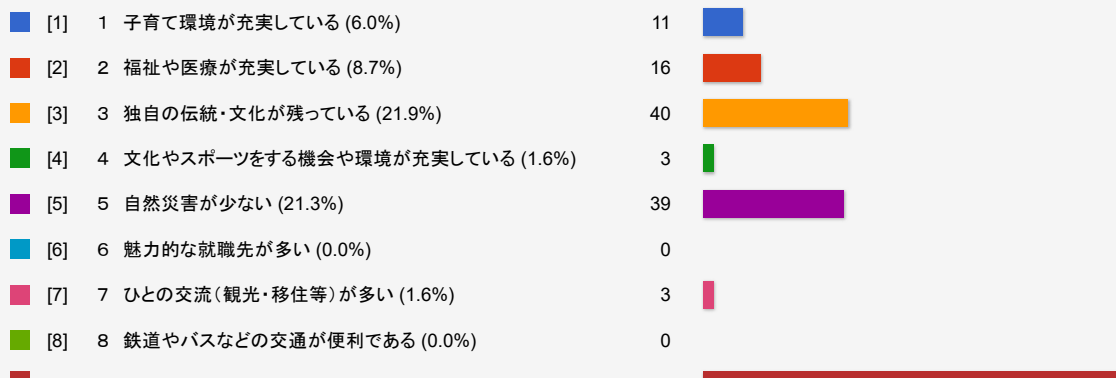


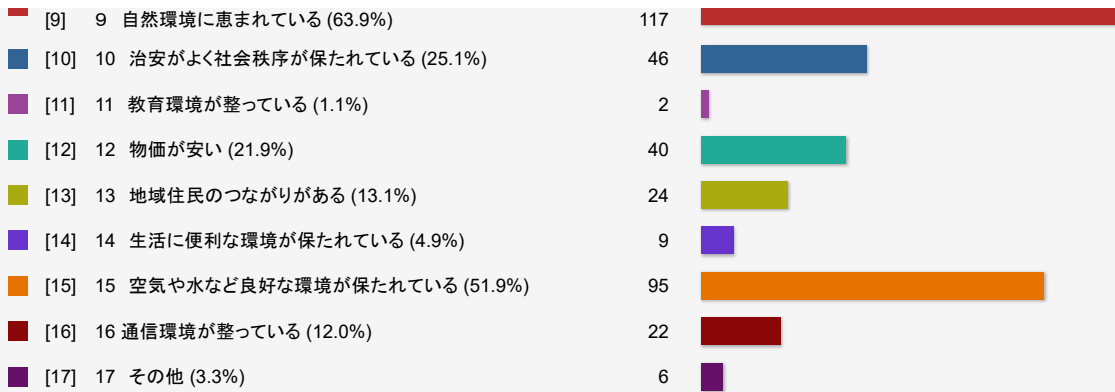
問7

(徳島県のよいところ)

あなたは徳島県に住んで、本県のどのような点がよいと思いますか。次の中から、該当するものを3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

「自然環境に恵まれている」と答えた方が6割を超えて最も多く、次いで「空気や水など良好な環境が保たれている」と答えた方が5割を超えています。



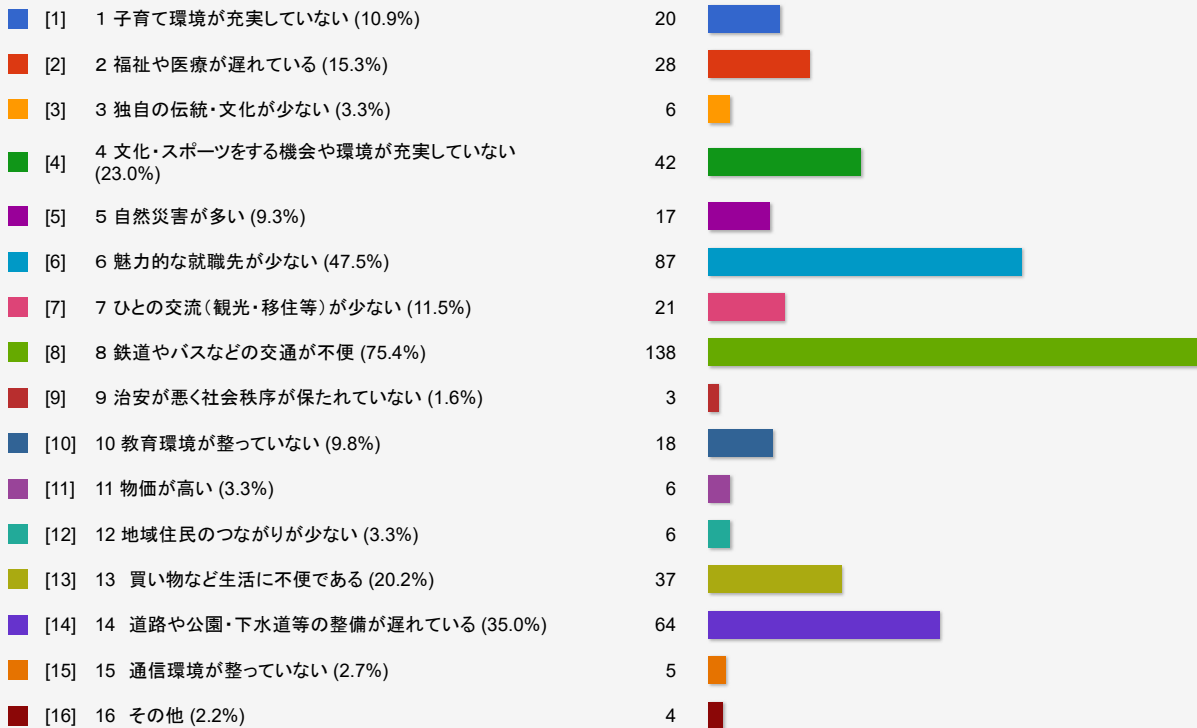


問8

(徳島県のよくないところ)

あなたは、徳島県のどのような点がよくないと思いますか。次の中から、該当するものを3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

「鉄道やバスなどの交通が不便」と答えた方が7割を超えて最も多く、次いで「魅力的な就職先が少ない」と答えた方が約5割となっています。

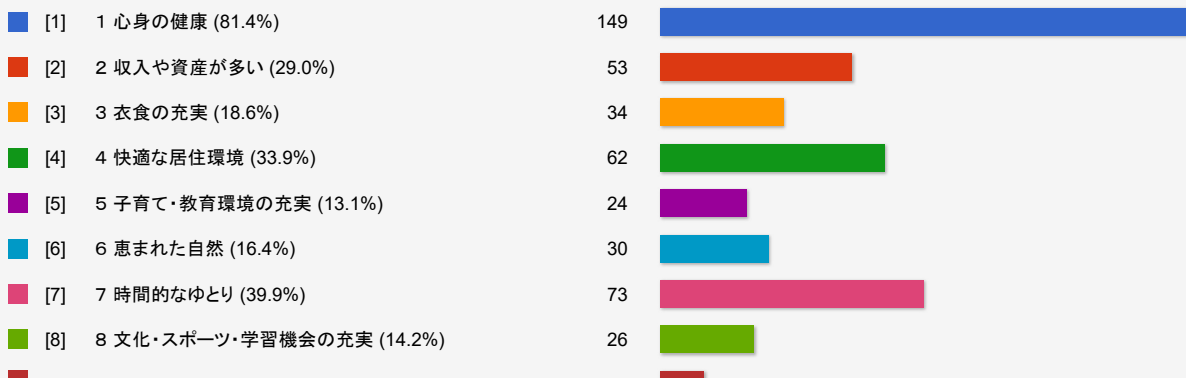


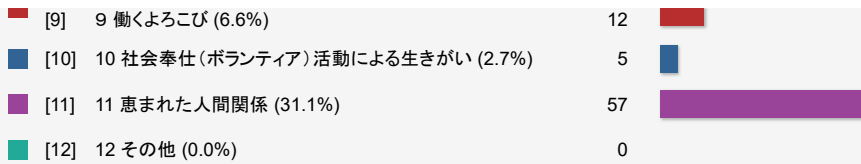
問9

(生活における「豊かさ」)

あなたにとって「豊かさ」とは何ですか。あなたのイメージに近いものを、次の中から該当するものを3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

「心身の健康」と答えた方が8割を超えて最も多く、次いで「時間的なゆとり」と答えた方が約4割となっています。





問10

(2060年頃の目指すべき徳島県の将来像)

あなたは徳島県が2060年頃(約40年後)にどうなっているといいと思いますか。あなたのお考えに近いものを、3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

「若い世代に魅力的な働き場所があり、希望どおりに結婚、出産、子育てができる環境が整っている」と答えた方が最も多く、4割を超えています。次いで「南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えが万全となっている」、「豊かな自然と潤いあるふるさとの風景が守られ、世代を超えて受け継がれている」と答えた方が約3割となっています。

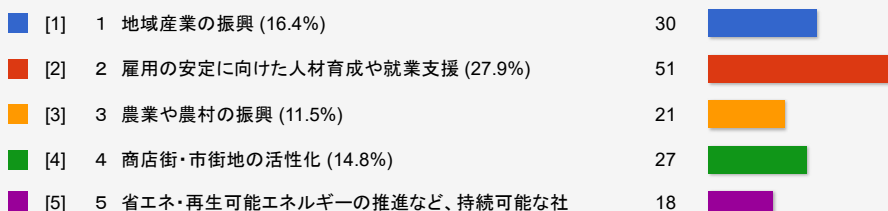


問11

(10年先を見据えた行政施策への要望)

あなたは、問10で選択した2060年頃の未来を実現するため、10年程度先(2030年頃)を見据えて、どのような行政施策を展開したいと思いますか。あなたのお考えに近いものを、3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

「バス・鉄道などの公共交通機関の充実と利便性の向上」と答えた方が最も多く、次いで「雇用の安定に向けた人材育成や就業支援」と答えた方で、それぞれ約3割となっています。



会への転換 (9.8%)



問12

(SDGsの認知度)

あなたは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。
次の中から、該当するものを1つ選んでください。

【SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)】

SDGsは、2015年9月に、国連で採択された2030年までの国際目標です。

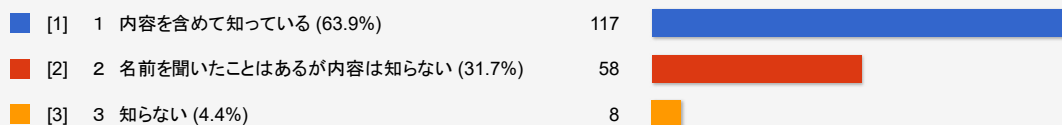
持続可能な世界を実現するための17の目標(ゴール)と169のターゲットから構成されています。すべての国のすべての人の行動を必要としており、地球で生活をする一人ひとりの取り組みが目標達成の一翼を担います。

例えば、節水や節電、レジ袋の削減やごみの分別、食べ残しをしないなど、日常生活で取り組めることが多くあります。

【参考】

[徳島県SDGs特設ホームページ](#)

「内容を含めて知っている」と答えた方が6割を超えています。

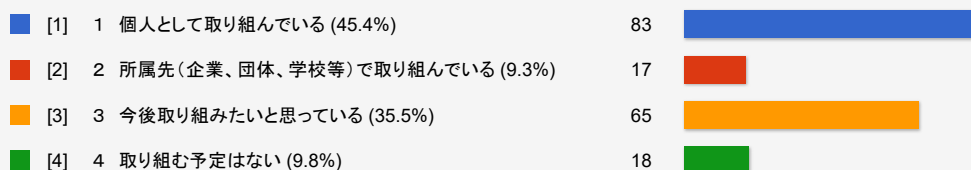


問13

(日常的なSDGsへの取り組み)

あなたは、SDGsを意識して、日頃何らかの活動に取り組んでいますか？次の中から、該当するものを1つ選んでください。

「個人」または「所属先(企業、団体、学校等)」として取り組んでいると答えた方と、「今後取り組みたいと思っている」と答えた方を合わせると、約9割となっています。

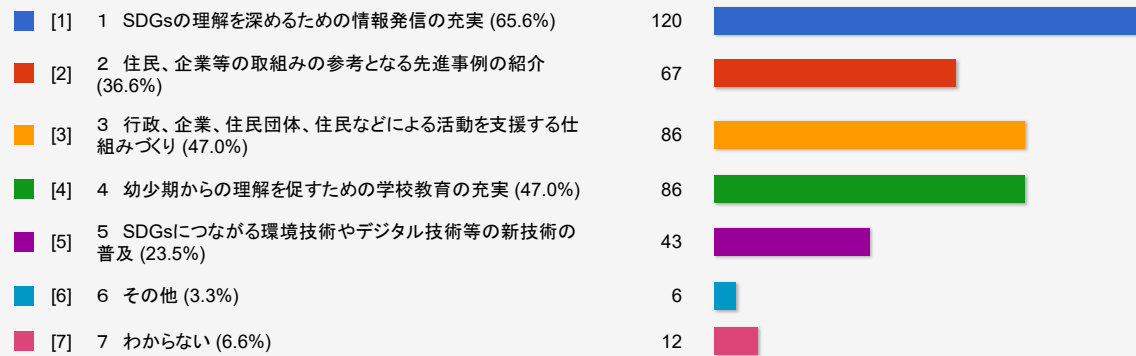


問14

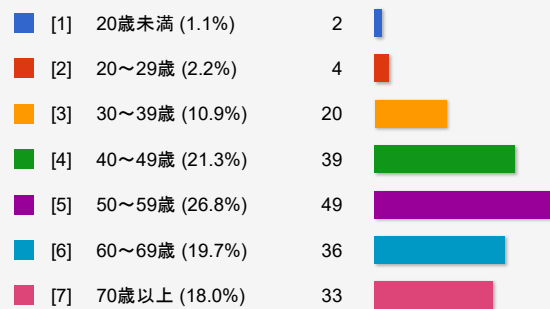
(SDGsを広げていくための取組)

県内でSDGsの取り組みを浸透させていくためには、何が重要だと思いますか。
次の中から該当するものを3つまで選んでください。(複数回答可・3つまで)

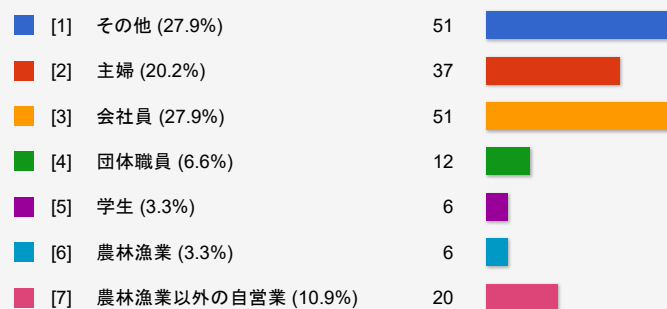
「SDGsの理解を深めるための情報発信の充実」と答えた方が6割を超えて最も多く、次いで「行政、企業、住民団体、住民などによる活動を支援する仕組みづくり」「幼少期からの理解を促すための学校教育の充実」と答えた方が約5割となっています。



年齢別



職業別



住所別



